

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

No.1213

18.8.21

涼しくなったら今度は台風?!

今週は台風19号と20号が続けてやって来ると...。これでは今年の8月に発生した台風は8つめです。過去には1960年と1966年に10の台風、1994年に9つの台風が発生したとか。心配なのは最近の「経験したことのない」西の降り方です。どこにも台風被害がないことを祈るばかりです。

平和を守るため全力あげると

73年めの終戦記念日の8月15日(水)、日本共産党の前(ひし)参院選挙区候補、奥村のり子(議員)、松坂みち子(県議候補)、森下さち子、南畑さち子、中村あさ子、

と、ひめだ高宏の5市議と坂口多美子、井本もついちの2市議候補は、JR駅前街頭宣伝をしました。初めて9人がそろって、これからという時に、雨が激しく降ってきました。



訴える(右から)南畑、井本、森下、松坂、前、奥村、南畑、坂口、中村の各氏15日、JR和歌山駅前

く降ってきました。マイクを握った前(ひし)参院選挙区候補は、今年の原水爆禁止世界大会に参加した感想を述べ、平和の大切さを訴えるとともに、戦

フワ〜の人々 (1996)

金足農 2ランスクイズを逆点サヨナラ

近江↓

七	八	九	計
0	0	0	2
0	0	2x	3

金足農 ↑

スワイズそのものか、少なくとも、た中で2ランスクイズとは

コ-コ-野球はヤッ!101! 後攻めかトク?!

争法を強行し、沖縄で新基地建設をすすめる、憲法の条に自衛隊を書き込み海外で武力行使できる国にしようとする安倍政権を厳しく批判。核兵器禁止条約が60か

今週のフワ〜人々 (その159)

高校野球・夏の甲子園

あまりの猛暑で「命の危険に関わる」とか天気予報でヤッ!と人警告がこれたことはいいことだし、しかも「室内では適当にクーラーを使え」などと一言、われらのを真に受けて、今年の夏は外に出かけることがホントに少なかったのです。そして、そのため、つい夏の甲子園、高校野球のテレビ観戦に熱中するようになった。智弁和歌山は残念な

から初戦で近江に負けましたが、その近江は勝ち進みました。打撃練習に力を入れているせいか、打順に関係なくホームランを打つチームもあり、逆転に次ぐ逆転の連続で、ついに見てしまふという試合が多かったように気がします。気になるとは、予選から決勝まで、人で投げ続けた和田・金足農の吉田投手。前評判通りの活躍でしたが、肩やヒジは大丈夫なのか?



ひめだ高宏

市政へくしくまへんター

私、ひめだの担当地域では津の宮、名草、和歌浦、高松、宮前小学校校区から返信されています。

くしくまへんについては、

かわらない人、やがて少なくなった人、かまじくなくなった人。その理由は給料・年金が下がった。被る指が増えた。物価が上がった。医療や介護の保険料が増えた。教育、

医療、介護の負担が増えた4となっています。

医療や介護の保険料引き

ぶどう狩りバスツアーお誘い

松坂みち子議員候補担当の市政ブロック(中・井本)ゆいち、東・森下さち子、南・ひめだ高松(合同)のバスツアーの9月(日)月・敬老の日(が)ぶどう狩りです。中ブロック台

下げや負担の軽減が必ずです。お全体のアンケート集約をして、来年度の予算要望や政策づくりに反映したいと思っています。

東と南ブロックで1日の貸切バスで行きます。参加費は4500円(バス代、ぶどう狩り、昼食、飲み物)です。中野遊園地もいっています。申し込みは8月末まで。いんてい

いんてい松坂みち子

みちもたち

夏休み最後の行事に、娘ふたりの家族と総勢の人で遊びに行きました。孫は5人、3才から8才です。兄弟姉妹だけの普段の生活に年の近いいと

こが一緒になって5人の関係がいろいろ変化し、見ていて面白いものです。それぞれにいろんな主張をしてくるともみちもたち。その交通整理を上手くやってる娘たち。その娘たちが「お母さんはお母さん一人で5人いたんだよね。考えられないよ」と話しているのだとか。娘たちよみ

よみもってくみた...と内心思いつつ、今になってみれば楽しかった思い出があります。長女に続き次女にも来年3人目が生まれる予定です。がんばれ!



松坂みち子 (県議予定候補)

潮流

18.8.20 旗みたい、新しい扉を開きたい、夢は自立すること。彼らは、働くことへの期待や抱負を語っていました▼2年前に新編のテレビ局が制作した「働きたい 障がい者雇用の壁」。雇わなくて済むならと、生産性や効率をもちだす企業。職に就いても周りの理解や知識不足で辞めてしまふことも。しかし、ま

た壁に阻まれる現場の苦悩に迫りました▼障害者を雇うことで従来のやり方を見直し、業績向上につなげた企業もあります。実際、番組のアンケートでは障害者を雇って良かったと答えた企業は6%、良くなかったはわずか4%でした。支援者はともに一歩を踏み出すことで変わり、いくと▼働きやすい社会、住みやすい街をめざし、障害者差別解消法と改正障害者雇用促進

法が16年4月から施行されました。障害者であることと女理由にした不当な差別を禁じ、法定雇用率も引き上げられました。職を求めざるを得ない障がい者が増えてきたなかで受け入れ側の意識を促すために▼ところが、これを容れず、き中央の省庁が長年雇用の数々を大幅にしていた疑いが出てきました。国が不正に、障がい者雇用の場を奪っていったことになり、実態の解明と責任の追及が求められます▼「障害者だけの者との平等を基礎として労働についての権利を有する」と認識する。日本も批准した障害者権利条約には、その権利が実現されることを国は保障し、促進しなければならぬと。国民や世界に平等な権利を。どこまでこの国は墮落しているのか。

赤旗 日刊紙 3,497円/年